

# シートカバー取付説明書

*Clazzio*



## ～総合取り付け説明書～

### 目次

1. 付属ビニールの使い方
2. 座面の取り付け方について
3. 背もたれの取り付け方について
4. ヘッドレスト
5. アームレスト
6. その他

### 注意事項

1. 本書は、いくつかの車種を例題にした総合取り付け説明書です。お客様の車種とはシートの形状や取り付け方法が一部異なる場合がありますがご了承ください。
2. 座面、背もたれ、ヘッドレスト、アームレストと、各パート毎に説明をさせていただいています。
3. 装着を始める前に、説明書内の注意書きを必ずお読み下さい。
4. 商品改良の為、予告無く仕様変更する場合があります。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

## 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。  
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。  
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

# シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこまずように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせてながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。  
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかりと入れ込むことができれば、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 座面の取り付け方法について

※シート形状によってはシート周囲のプラスチックカバーを外して生地を入れ込む場合もあります。  
ネジやツメで固定されていますので、破損させないように取り外して下さい。



①座面の表面のラインに合わせて、カバーを被せていきます。



④シート本体の形状によりますが、プラスチックカバーが有る場合は、カバーの隙間に生地を挟み込みます。



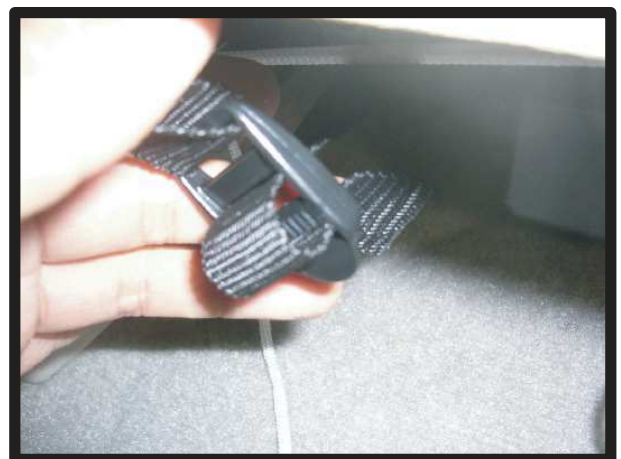
②カバーを座面と背もたれの隙間に入れ込んで、背面から抜き出しておきます。



⑤手順③で抜き出しておいたヒモを、片側のヒモで輪を作り、もう一方のヒモを輪に通して、適度な力で引っ張り、結んで固定します。  
※引っ張り過ぎに注意してください。



③両サイドにヒモが有る場合は、ヒモをシート本体とプラスチックカバーの隙間に入れて、下から抜き取るようにして背後に回しておきます。



⑥ベルトが付いている場合は、前後のベルトを座面下部で固定します。マジックテープの場合は、そのまま座面に固定します。

## 座面の取り付け方法の続き



⑦ベルトの固定方法は、最初にバックルの真中の穴にベルトを通します。次に、端の穴にベルトを通します。



⑧ベルトを適度な力で引っ張り固定します。

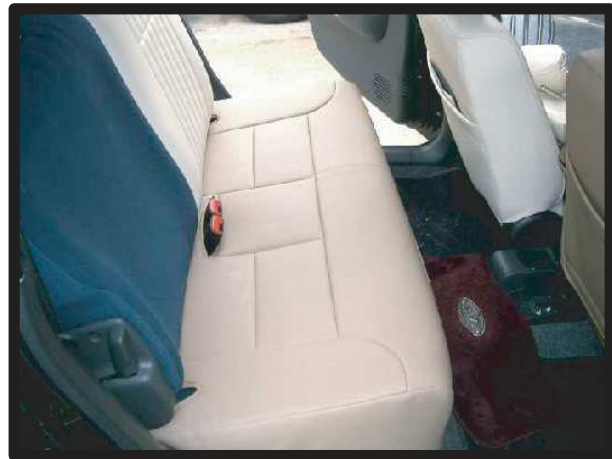
※引っ張り過ぎに注意して下さい。  
強く引きすぎると切れてしまう場合があります。



⑨表面を座面に馴染ませるように整えて、座面取り付けの完成です。



⑩2列目の座面は車種により、車体から取り外してシートカバーを装着する場合があります。ほとんどの車種はシート前端を持ち上げて手前に引き抜くと外れるようになっていますが、詳しくはお車の取扱説明書等をご参照下さい。



⑪シートを車体に装着するときにシートベルトなどを元の状態に戻すことを忘れないようご注意ください。

# 背もたれの取り付け方法



①ヘッドレストを外し、背もたれカバーをかぶせます。シートカバーにアームレスト用の穴加工がされていない場合は、次項をご参照下さい。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこまずように取り出してください。（無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。）



②マジックテープ部分を、座面と背もたれの隙間に入れ込んで、背面に抜き出しておきます。



⑤背もたれ背面で、マジックテープを固定します。マジックテープが届かない場合は、③の手順を繰り返し行って下さい。



③①～③の順番にカバーをなで下ろしてシートに密着させるようにしわをなくしていきます。



⑥表面を整えて、背もたれ取り付けの完成です。



# アームレストの取り外しとカバーの取り付け

オプション設定のアームレストを付けたなどの場合は一度肘掛けを背もたれ側面から外し、背もたれ部分を装着後、肘掛け取付金具に貫通用の切り込みを作り、肘掛けを取付けます。



①肘掛け取付金具のプラスチックカバーを外します。マイナスドライバーもしくは内張りはがしを使い手前に押し上げるようにしてはずします。ファスナーが付いているタイプの肘掛けは生地をめくり、ファスナーを開けます。



④肘掛けを取付けます。この時、肘掛けや背もたれの形状をよく確認してから、ボルト等を締めてください。形状や位置が合わないまま強引に取り付けるとシート本体やボルト等を破損させてしまう恐れがあります。



②ソケットレンチなどを使い肘掛けを取り外します。潤滑用グリスでシートを汚さぬ様、注意して下さい。



⑤カバーを折り返しアームレストの先までしっかりと入れ込んでください。その後、シートカバーをシートになじませる感じでシワをなくしていきます。この作業は時間をかけて徐々に被せていくことが大切です。力まかせにすると破れる恐れがありますのでご注意下さい。マジックテープでしっかり固定できれば完成です。



③背もたれカバーを正確な位置に取り付けた後、ボルトが入る位置に穴を開けます。背もたれから出ている支持棒も穴を開けて取り出してください。

# ヘッドレストの取り付け方法

## プラスチックフックの場合



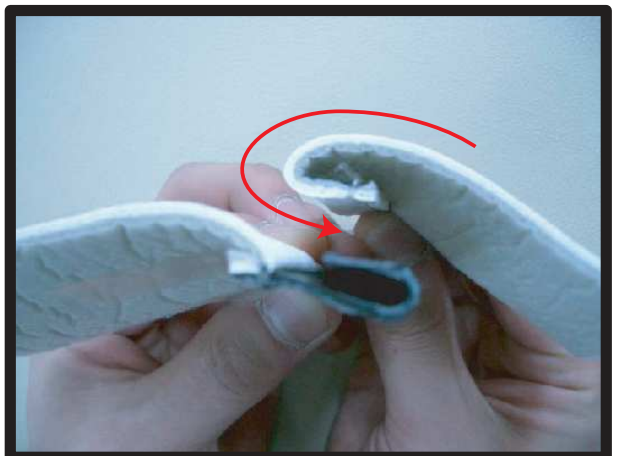
①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチックの部品が付いているほうが前です。



④平らなプラスチックの付いた部分を内側へ巻き込むように折り返して、フック状のプラスチックの溝に押し込んでいきます。



②ヘッドレスト本体を圧縮しながらカバーに入れ込んでいきます。縫い目の部分に力がかかりすぎるとカバーが破れる恐れがありますので、作業は慎重に行ってください。

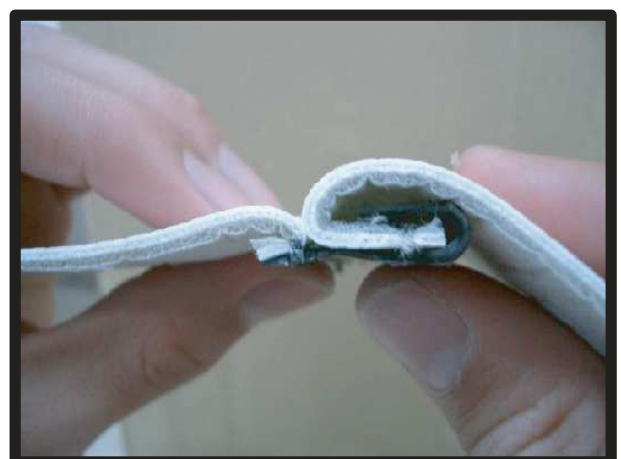


(断面図1)

平らなプラスチック部分を写真のように内側へ折り返します。



③ヘッドレストをシート本体から取り外して、底面の形を整えます。



(断面図2)

平らなプラスチック部分を押し込んでいくと、写真のように巻き込んだ形になります。

# ヘッドレストの取り付け方法続き



⑤プラスチック部分を最後まで入れ込むと図の様になります。



②ヘッドレストカバーのヒモを引き絞りながら結んで固定して、取り付けの完成です。



⑥ヘッドレストをシート本体に取り付けて完成です。

## マジックテープの場合



①左右均等にヘッドレストカバーを被せていきます。

## ヒモの場合



①ヘッドレストカバーを被せていきます。ヒモが出ている方を前にしてヘッドレストを圧縮しながら入れ込んでいきます。



②ヘッドレストを取り外し、マジックテープを固定して完成です。

# ヘッドレストの取り付け方法続き

ファスナーの場合



①カバーはファスナーが開いた状態で入っています。



④ヘッドレストの中心の穴に生地を入れ込みます。  
カバーの生地でヘッドレストを包み込みます。



②生地を表と裏をひっくり返して、裏地が見える状態にします。



⑤カバーの前後をファスナーで固定します。



③ヘッドレストのステーをカバーの穴に通します。



⑥ファスナーをカバーの中に入れて込んでヘッドレストの完成です。

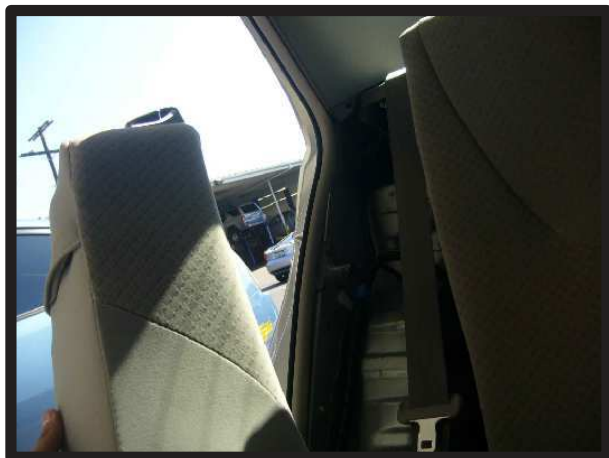
## その他（後席タイヤハウス上部のパーツ）



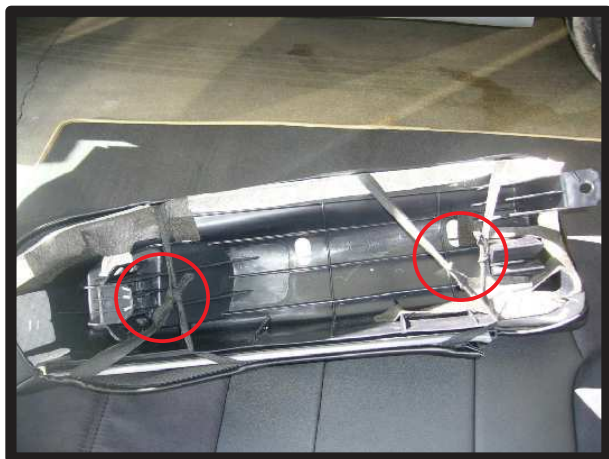
①座面を取り外した状態や、跳ね上げた状態のときに、ネジやナットが現れますので、取り外します。



④表面を整えて、パーツを元の位置に取り付けなおして、完成です。



②上部に持ち上げるようにして取り外す場合が多いのですが、車種によって異なりますので、各車メーカーやディーラーに問い合わせして下さい。



③カバーを被せて、裏面でゴムどうしを結んで固定します。

# 座面カバー装着のポイント



①カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



④ベルトは、写真のようにたるんだ状態から(⑤へ進む)



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤写真のように、ベルトが真っ直ぐに張る状態まで締めます。  
この際に、前後に反動を付ける等、必要以上の力で作業を行うと切れる恐れがありますので注意して下さい。



③シートの角に当たる部分にたるみがないように、しっかりとカバーをかぶせます。  
この角を合わせる事で、カバー全体の仕上がりに影響が出ます。



⑥ベルトは、カバーの浮きを防ぐ為の補助的なものですので、必要以上に締め過ぎると、乗り降りを繰り返すうちにカバーとベルトが引張られて切れる恐れがあります。



⑦カバーを、シートの角（先端）と側面のラインを合わせて装着すると、このようになります。

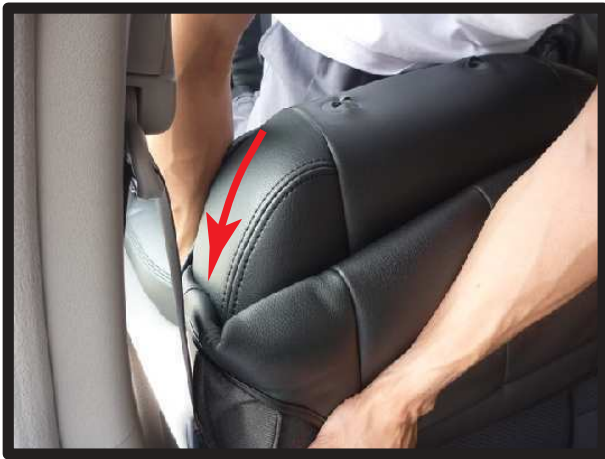


⑧シート先端から、背もたれへかけてのラインは、このようになります。



⑨全体のラインをしっかりと合わせる事で、カバー装着後の仕上がりが良くなります。

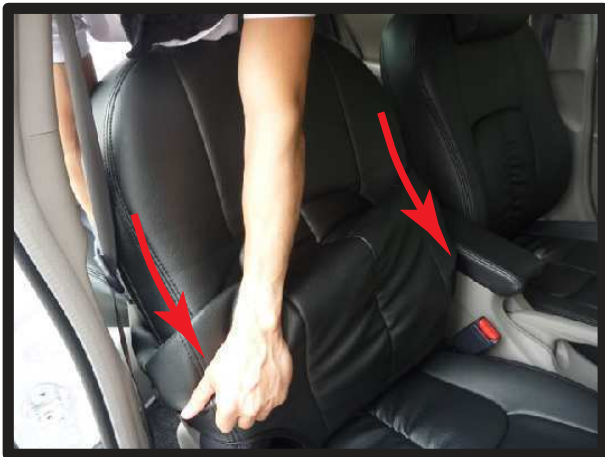
# 背もたれカバー装着のポイント（シートカバーの構造に



①背もたれカバーを半分裏返した状態でシートにかぶせます。写真のように肩口をしっかりと入れ込み、シートとカバーのラインを合わせます。



④カバーを引き下げただけの状態ですと写真のように、シートの張り出し感が出なかったり、側面にシワが出てしまいます。



②カバーを左右均等に引き下げます。



⑤シートのシワを無くしたり、シートの立体感を出す為に、側面の生地をシートのラインに沿わせながら、前側へ寄せます。



③カバーを引き下げるとこのようになります。



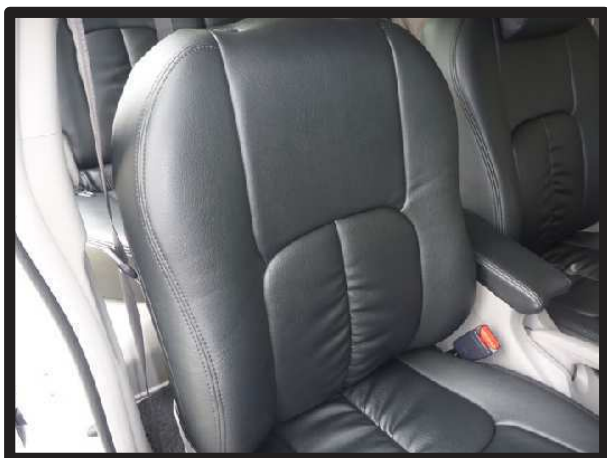
⑥⑤の状態を維持しながら、前面の生地を、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



よって、形状に若干の違いがあります)



⑦入れ込んだ生地を後側から引き出します。この際、前側の生地を押さえながら、後側の生地を引っ張る事でよりシートの立体感が出せるようになります。



⑧取付説明書の取り付け方法に従い、カバーを固定すると、このようになります。



⑨背もたれの側面のシワと、シートの立体感は、写真のようになります。

# ヘッドレストカバー装着のポイント



①ヘッドレストにカバーを装着する際は、写真のようにカバーを裏返した状態でかぶせます。



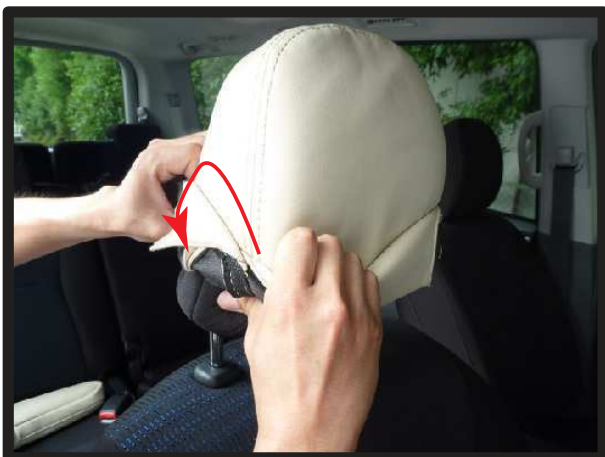
④ヘッドレストのシャフト（軸）に当たる部分の生地（赤矢印部）を持って引っ張らないで下さい。



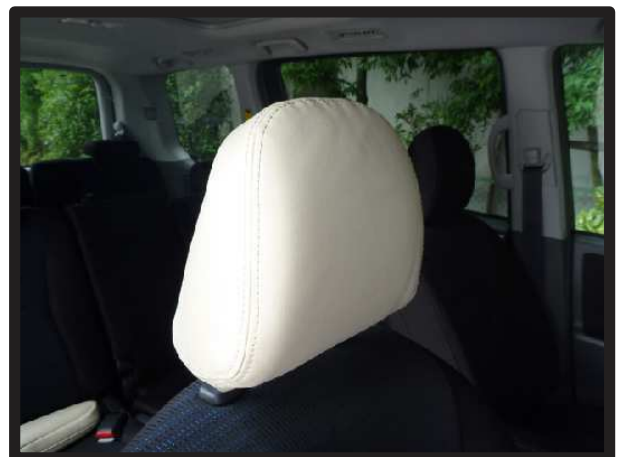
②裏返したカバーをヘッドレストにかぶせていきます。  
この際に、ヘッドレストとカバーの縫い代のラインをしっかり合わせると、次の作業がしやすくなります。



⑤写真のように、④の部分の生地を引っ張ると生地が破れる恐れがあります。



③裏返したカバーをめくるように、左右均等に引き下げます。  
無理な力を掛けるとカバーが破れる恐れがありますので、慎重に作業して下さい。



⑥①～⑤に注意してヘッドレストにカバーをかぶせ、取付説明書の固定方法に従ってカバーを取り付けます。

# アームレストカバー装着のポイント



①カバーを裏返し、縫い代に当たる生地を、写真のように一定方向へ折込みます。



④カバーをかぶせると、写真の矢印位置のように表面が整っていない事があります。これは、縫い代に当たる生地が、カバー内側で一定方向を向いていないからです。



②アームレストの先端をしっかりと入れて、カバーをかぶせます。



⑤④の状態を治す為に、写真のように表面が整っていない生地をつまみ、一定方向に縫い代が向くように調整します。



③アームレストを立てた状態で、カバーを真っ直ぐ引き下げます。



⑥表面の生地を整えると、写真のように装着感と見栄えが良くなります。



## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ  
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …→ 生地別メンテナンス方法

### クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

#### アルカンターラ・スエード

##### ● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

##### ● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



#### 本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

##### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



#### PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



# Elazzio

## SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

[www.11i.co.jp](http://www.11i.co.jp)



「快適カーライフ空間創造企業」

**ELEVEN**  
INTERNATIONAL

株式会社 イレブンインターナショナル

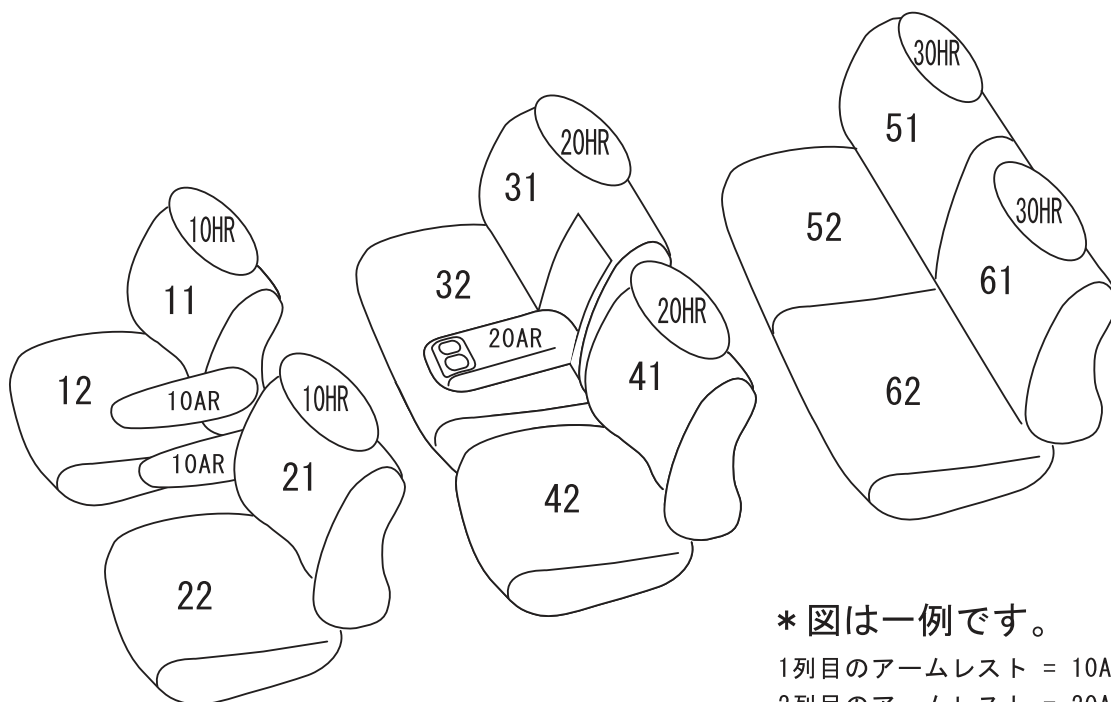
〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

FAX.072-330-8816



# シートレイアウトと 弊社シートカバーの表記タグ対応図



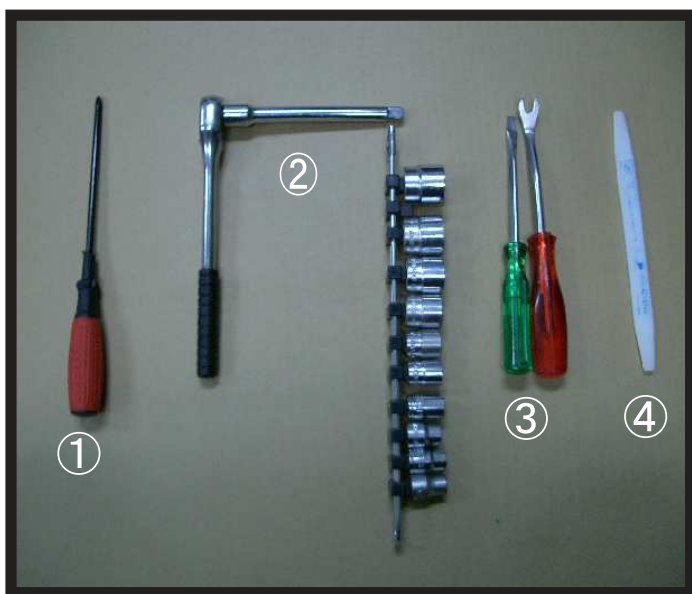
\* 図は一例です。

1列目のアームレスト = 10AR

2列目のアームレスト = 20AR

3列目のアームレスト = 30AR

## 取り付け必要工具



### 工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ（無くても可）

\* 掲載工具は一例です。工具は作業内容に応じた物をご用意下さい。